

議会だより



定例会(補正予算・条例の一部を改正する条例等).....	2・3	ページ
一般質問(まち、人、しごとを質す).....	5~10	
学ぶ議会.....	11	
モニターアンケートにお答えします.....	12・13	
あの時のあの質問どうなった.....	14	
町民の声.....	15	

行くぞ!(元旦ジョギング大会)
関連記事16p



発行/長野県飯網町議会 編集/議会報編集調査特別委員会 発行責任者/渡邊 千賀雄
〒389-1293 長野県上水内郡飯網町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和4年12月31日現在 人口10,534人(98.3%) / 男5,174人(98.1%)・女5,360人(98.6%)
世帯4,230(100.2%) ※うち外国人世帯30(96.8%) ()内は前年比率

町職員の定年年齢を段階的に65歳に引上げ 病院の医師、歯科医師も 段階的に70歳に引上げ

12月定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を行い、11月29日から12月15日までの17日間の日程で開催された。提出された議案は、条例10件、補正予算8件、その他2件。20件すべて原案通り可決した。

請願は、1件採択、陳情3件は、採択1件、一部採択1件、1件は不採択とした。

飯綱町職員の定年年齢に関する条例等の一部を改正する条例 —可決

定年延長に伴う根拠条例の整備、管理監督職務上限年齢に関する規定の整備、定年前再任用短時間勤務制・暫定再任用制度に関する規定の整備、情報提供・意思確認制度に関する規定の整備、その他、関係条例の地方公務員法の引用条項等を改めるもの。

飯綱町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 —可決

地方公務員法等の一部改正等に伴い、飯綱町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正するもの。61歳となる年度以降の職員の給与水準を60歳到達時

の給与月額額の「7割水準」とする規定の整備、役職定年による降任先の職に関する規定の整備など。

飯綱町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 —可決

定年延長の実施により、育児休業の取扱いを定める規定の一部が変更となるものなど。

飯綱町職員の旅費に関する条例及び飯綱町特別職の職員で常勤の者等の旅費に関する条例の一部を改正する条例 —可決

支給する旅費等について、現在の運用との整合性を図るもの。また、今後職員の遠方赴任なども想定し規定を整備するもの。

飯綱町印鑑条例の一部を改正する条例 —可決

令和5年1月から運用開始となる「証明書オンライン請求サービス」の導入に伴い、印鑑証明書がマイナンバーカードを用いてオンライン申請できるようになるため、オンライン申請時は印鑑登録証の提示を不要とするもの。

飯綱町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例 —可決

- ・し尿処理に係る手数料が基本料金(180円以下)を「1750円」から「1870円」に改定。
- ・加算料金(180円を超え、18円につき)「175円」から「187円」に改定。
- ・仮設トイレの場合1回につき「2440円」から「2640円」に改定。



飯綱町飯綱東高原観光施設条例の一部を改正する条例 —可決

飯綱東高原観光施設のうち、オートキャンプ場、ケビン、ポート、釣場、スノーリースライダーの利用料金を約30%程度、料金引上げとするもの。

補正予算

令和4年度飯綱町一般会計補正予算(第8号) —可決

主体はふるさと応援寄付金と高騰している電気料への対応。

ふるさと応援寄付金は3億円を増額し、寄付金トータルで6億円となる。また、役場庁舎や学校、保育園などの公共施設の電気料金の高騰に伴い、4151万6千円を増額する。

定例会

病院事業会計では光熱水

病院事業会計補正予算
水道事業会計補正予算
下水道事業会計補正予算
— 3件とも可決

※特別会計補正予算3件は、いずれも交付金や繰入金、事業収入の増額に伴う補正予算。

既定の予算に161万円を増額し、総額を6730万円とするもの。

令和4年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計補正予算(第2号)
— 可決

既定の予算に997万円を増額し、総額を14億4140万円とするもの。

令和4年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)
— 可決

既定の予算に2380万円を増額し、総額を13億8630万円とするもの。

令和4年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
— 可決



▲造成中の焚荒団地と町道

普光寺地区に建設中の団地内道路を町道とするもの。
路線の概要
路線名：町道 焚荒(タキアライ)団地線
延長：L1135・8m

町道路線の認定について
— 可決

費、燃料費高騰に対する町からの負担金(繰出し金)2400万円の計上。
水道事業会計では電気料金高騰に対応する動力費693万円の増額計上。
下水道事業会計では、処理場の電気料金の増額計上。

請願・陳情

免税軽油制度の継続を求める請願
— 採択

飯綱東高原観光開発株式会社 代表取締役
仲俣俊晴氏

軽油取引税の課税免除の特例措置が、令和6年3月末で終了する。それ以降も継続を望む請願。

安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書
— 一部採択

請願者 長野県医療労働組合連合会 執行委員長
小林吟子氏

日本は、他の先進国に比べ医師や看護師、介護職員や保健師が圧倒的に少ない。必要な人員体制の確保を国の責任で行い、対策の中心となる公立・公的病院や保健所の拡充など機能強化を求めるもの。

※一部採択とは、請願(陳情)の内容が数項目にわたる場合で、内容が採択できる項目については、その項目をとりあげて、一部採択として採用すること。

介護保険制度の改善を求める意見書提出についての陳情
— 採択

陳情者 長野地区社会保障推進協議会長
菅田敏夫氏

国に対し、介護保険財政における国庫負担の割合を引き上げること。国費により、全ての介護保険従事者の給与を引き上げることを求めるもの。

介護保険制度の改善を求める意見書提出についての陳情

賛成討論—伊藤まゆみ

住民の願いや思いに心を寄せ、安心して住み続けられる地域を守るために力を尽くす。それが議員のあるべき姿であると考える。

インフルエンザや風邪と同等(又はその物である)と完全にバリエーション存在証明不能かつ遺伝子配列滅茶苦茶の新型コロナウイルススに対する、おみくじ同然のインチキPCR検査や有害無益な過剰マスク強要等の、非科学的洗脳、特殊詐欺、靈感商法により流産を含む健康被害と約11万人以上の超過死亡被害等を発生させた新型コロナウイルス、及び効果なしのインフルエンザワクチン、及び被害者激怒の不妊化目的子宮けい癌ワクチン、及び乳幼児突然死、ぜん息、川崎病、ADHD、自閉症等の原因となる母子手帳ワクチン過密スケジュールのすべてを拒否し、グレートリセットや世界人口削減の罠に掛からないよう声を掛け合い対策を講じる陳情
— 不採択

陳情者 原秀史氏
「ワクチンは打つな」という陳情

臨時会

令和 4 年 第 4 回 臨時会

10 月 28 日 開会

報告

・ 専決第 13 号 損害賠償の額 2949 円

・ 専決第 14 号 損害賠償の額 2万 524 円

共に車両の事故に起因するもの。

令和 4 年度 飯綱町 一般会計 予算 (第 7 号) — 可決

既定予算に 1 億 8570 万 6 千円を増額し、84 億 8164 万 2 千円とするもの。

主な補正内容

地方債補正 限度額の追加及び変更

・ 補助災害復旧事業債

0 円を 1660 万円

・ 緊急自然災害防止対策事業債

1520 万円を

1940 万円

・ 過疎対策事業債

3 億 4550 万円を

3 億 4990 万円

教育委員会の任命について — 同意

吉澤 奉子氏 任期令和 4 年 11 月 10 日から令和 8 年 11 月 9 日まで (4 年間)

令和 4 年度 12 月 定例会 議案に対する各議員の賛否結果 (○賛成 ●反対)

議案名	表決結果	三ツ井忠義	中井寿一	小林文廣	瀧野良枝	青山弘	中島和子	樋口功	風間行男	目須田修	石川信雄	清水満	大川憲明	伊藤まゆみ	原田幸長	渡邊千賀雄
東北信市町村交通災害共済事務組合規約の変更について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町職員の旅費に関する条例及び飯綱町特別職の職員で常勤の者等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町飯綱東高原観光施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度 飯綱町一般会計補正予算 (第 8 号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度 飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度 飯綱町介護保険事業特別会計補正予算 (第 2 号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度 飯綱町訪問看護ステーション特別会計補正予算 (第 2 号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度 飯綱町病院事業会計補正予算 (第 1 号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度 飯綱町水道事業会計補正予算 (第 2 号)	可決	○	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度 飯綱町下水道事業会計補正予算 (第 2 号)	可決	○	○	●	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
町道路線の認定について	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
飯綱町一般職の職員の給与に関する条例及び飯綱町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 4 年度 飯綱町一般会計補正予算 (第 9 号)	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 免税軽油制度の継続を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	一部採択	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 介護保険制度の改善を求める意見書提出についての陳情	採択	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 インフルエンザや風邪と同等 (又はその物である) と完全にバレている存在証明不能かつ遺伝子配列減茶苦茶の新型コロナウイルスに対する、おみくじ同然のインチキ PCR 検査や有害無益な過剰マスク強要等の、非科学的洗脳、特殊詐欺、靈感商法により流産を含む健康被害と約 11 万人以上の超過死亡被害等を発生させた新型コロナワクチン、及び効果なしのインフルエンザワクチン、及び被害者激怒の不妊化目的子宮けい癌ワクチン、及び乳幼児突然死、ぜん息、川崎病、ADHD、自閉症等の原因となる母子手帳ワクチン過密スケジュールのすべてを拒否し、グレートリセットや世界人口削減の罠に掛からないよう声を掛け合い対策を講じる陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	●	●	●	○
発議 免税軽油制度の継続を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 介護保険制度の改善を求める意見書案	可決	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○

※採択された請願・陳情は、関係機関に意見書を提出しました。 ※表中の欠は病欠

賛否結果

一般質問 まち、人、しごとを質す 5人が登壇

中島 和子 6ページ

- 1 人口増推進計画新規事業は
- 2 世界かんがい施設遺産登録申請の行方は

石川 信雄 9ページ

分散型エネルギーインフラを

中井 寿一 7ページ

- 1 空き土地対策は
- 2 ゴミの分別方法は

伊藤 まゆみ 10ページ

- 1 学校給食費の無償化を
- 2 町道の管理の強化を

瀧野 良枝 8ページ

- 1 高齢者福祉に関わる人材確保への取組は
- 2 町全体の公園整備の方向性は

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



一般質問

12月議会を半日傍聴させていただきます。飯綱町の人口増進のための事業についての質問がありました。空き家対策など知らないこともあり勉強になりました。移住者を募るために行われている「りんご学校」の成果についての現状も数字なども示して頂く中で理解でき、様々な取り組みがなされていることを実感しました。

議員さんの質問によって、町長の町政へのビジョンや施策が明確に示され、心強く思いました。

課題山積みの中にあつて、議員の皆様活躍に期待します。コロナ禍、マスク着

傍聴席



上野 千野子さん
(古町)

議会傍聴して、町政を知る



用そのままの質疑応答は、難しい言葉もあり少し聞きづらい所がありました。

今回の一般質問が5人のみ。日程の制限があるのでしょうか？少し淋しく感じました。

活発な意見が交わされることを願っています。

人口増推進計画

援農支援体制の整備を

町長 研究しながら対策する



中島 和子議員

一般質問

移住・定住、関係人口は

中島 無料職業紹介事業、町のアピールは。企画課長 長野市に近く、自然豊かで家族層で住める環境をサイトにアップしていく。

中島 6年前からの事業であり、りんご学校の関係人口は増加したか。

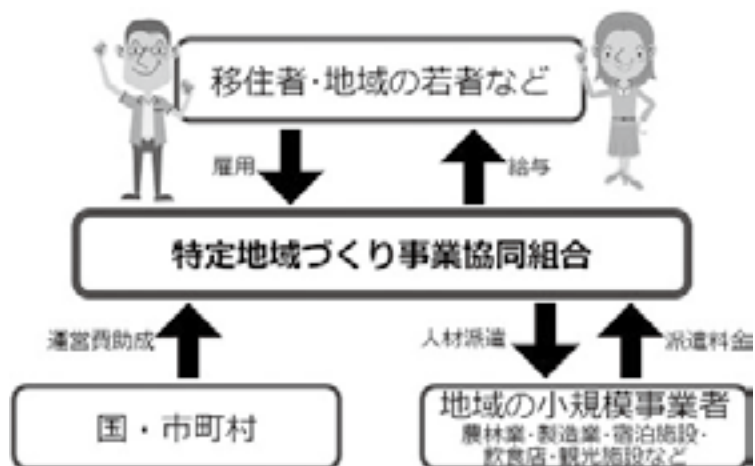
町長 りんご学校は後継者や援農者の確保より、まずこの町を知っていただくことで関係人口の増加に繋がっていると考える。学校経験者が協力隊となり、都内販売にも関わっていただいている。

援農組織、今後の活用は

中島 特定地域づくり事業協同組合設置事業内容は。

企画課長 町内の仕事の組み合わせにより、年間を通じた安定的雇用で移住定住にも繋がる。国の財政支援があり、いわゆる過疎地域が対象。

中島 援農センターの計画



▲町内の仕事の組み合わせで安定雇用につなげる仕組み

る援農組織を特定地域づくり事業協同組合制度で活用するとは。

町長 制度は通年雇用であり、農繁期だけの雇用は幹旋事業となり、制度の違いがある。しかし移住者にとっては就業の場の確保になると考える。

後世に繋ぐ史跡指定を！

中島 芋川用水、世界かんがい施設遺産登録へ申請は。

産業観光課長

とあるが。
町長 人材活用センター、助っ人組合の2つの組織で、農業者の派遣をしているが高齢化により就労確保が難しい状況。援農センターのような窓口の立ち上げを研究している。

中島 新規就農やUターンして農地を拡大する若者が何人も見受けられる。労働力不足が深刻で援農支援体制の整備が必要。集落にあ



▲芋川神社には用水路に関する象徴的な碑がある

で報告する。
中島 400年以上も水と共存しながら、住み続けることが出来た背景と歴史は尊い。後世に残すために、町の史跡指定とすることは。
教育次長 文化財保護制度がある。貴重な用水路に関する象徴的なものの価値の調査研究を進め、文化財として相応しいものは指定したい。
町長 産業インフラとして改修しながら使用している。用水自体の指定は考えてはいないが史跡指定するものを研究したい。

福井団地内の空き土地問題

町長 問題が発生すれば適切に対応する



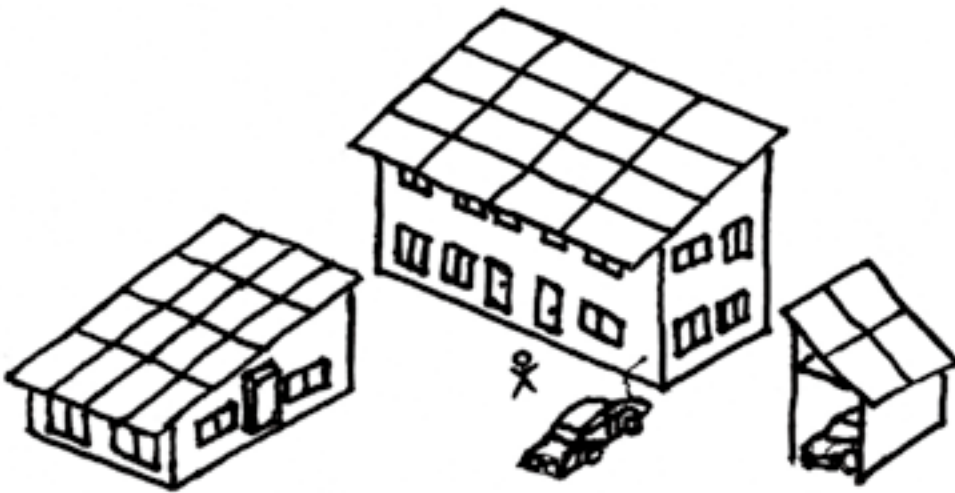
中井 寿一議員

団地内の空き土地

中井 福井団地内には、広大な山林を含め、まとまった空き土地があり、過去に問題が発生したことがある。また、福井団地分譲時に店舗予定地だった場所については、店舗撤退後の現在、太陽光発電施設の計画が公表され、大きな反対運動が起きている。

町として、これらの空き土地の乱開発に対して有効な対策を立てられないか。
町長 福井団地の分譲開始時に売却して頂けなかった土地がある。それらの土地については、今後の土地活用について慎重な対応をお願いしている。しかし、分譲後の土地が売買された場合は、手の施しようがない状態である。問題が発生すれば、景

観条例、自然環境保護条例に照らし合わせて、適切に対応する。
中井 今、くろさき跡地に太陽光発電施設の計画が公表され、反対運動が起きている。これについて、町の対応は。



▲自然を愛し、自然を活用するゼロ・エネルギーの家・多世代交流の場

町長 先に、住民の代表である区長及び住民の方が役場に来て、反対の要望書を頂いた。太陽光発電施設の事業者との交渉はこれからであるが、住民の意向を優先した計画に変更するよう促す。あるいは、譲っていただけるのなら町で購入し、住民の意向に沿った利用方法を考えたい。例えば、福井団地の中心地として、ゼロカーボンの住宅や多世代交流の場にする等、議会の了解が得られる事業計画を立てられるのではないかと希望を持っていて。町は職員の知恵を振り絞り、財政措置を考える。事業計画には、住民を巻き込みたいと思っている。

ごみ分別方法の見直し

中井 ごみ分別表によれば、布団はどんなに小さくても「粗大」ごみである。ブルーシートは農協で回収で

ある。電源コードは不燃性「粗大」ごみである。これらについて、回収業者や最終処分場に確認したところ、布団やブルーシートは町指定の可燃ごみ袋に入る大きさならば、問題ないと聞いた。電源コードも金属類で回収できる。これらも含めて分別の見直しができないか。
住民環境課長 回収業者、最終処分場に確認が取れたので、回収業者や衛生組合と相談の上、見直しをする。



▲布団や電源コードは粗大ごみ？ ブルーシートはJA？



瀧野 良枝議員

介護人材確保 実践的な取組を

町長 官民連携を生かした計画を樹立したい

一般質問

移住サイトの活用を

瀧野 国では、介護人材の必要数を2025年には32万人増の243万人、2040年には69万人増の280万人と示している。町の推計は。

保健福祉課長 現在、介護職員数は約200名。2025年には229名、2040年には233名の推計。**瀧野** 県のサイト『信州で働こう』掲載企業に採用された移住者には単身で最大60万円、2人以上世帯で最大100万円支援される。

飯綱町の企業登録はないが、**保健福祉課長** 推進しているが登録はない。更に周知する。

瀧野 町の移住定住サイトは昨年度閲覧数は12万4千件超。移住希望者から注目される中で、福祉・介護人材確保に特化したページ作成を。

企画課長 移住受入協力企業9社に、移住者の就職希望への対応を依頼。社協、飯綱病院を含め、医療・福祉系事業者にも参加しているので、PRしたい。



資格取得助成 効果的活用を

瀧野 町でも資格取得の一部助成があるが、社協独自の貸付制度の場合、3年勤務で返還免除、前払い精算と、利用者にとっての利便性の良さや雇用確保という面でも効果的。町でも対応を。

町長 介護職員は職種によって様々な資格が求められるだけでなく、これまで以上の支援も含めて検討していく。**瀧野** 意欲のある学生の実習先に町内事業所を各教育

▲東京圏・愛知県・大阪府からの移住者対象。企業掲載は無料。積極活用を

機関へPRすることは、入職のキッカケになるのでは。**保健福祉課長** 事業所に受入可能か聞き検討。

官民連携での課題解決を

瀧野 介護人材確保に向けた官民連携のプラットフォームを設立し、現状把握、詳細な分析、課題解決の戦略策定、PDCAサイ

クルを回しながら、国や県ではカバーできない実践的な政策展開を。事業所間の横連携により、若手職員の人材育成に効果を上げている自治体もある。福祉の充実した飯綱町として主体的な取組を。

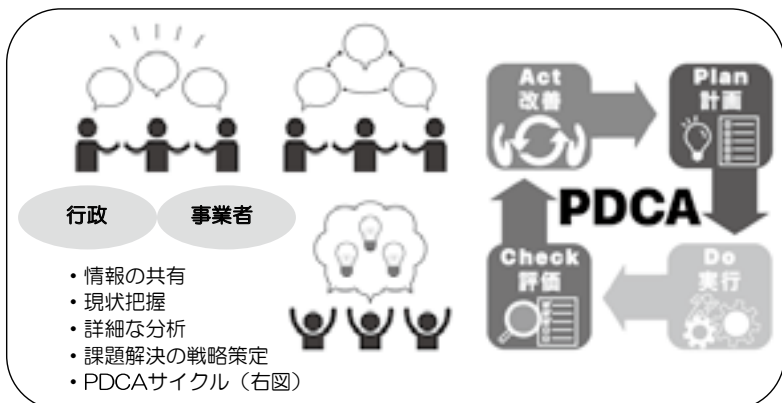
町長 プラットフォームには大賛成、しかしその規模をどうするか、町単独では、人材的にも財政的にも息詰まる可能性もある。官民連携を生かした計画を樹立したい。

公園構想

地域との共創を

瀧野 公園の全体計画に

ついて、目指す方向性は。**町長** 全体構想としては4か所(コネクティブースト、ウエスト、牟礼駅前、旧三水役場)。地域によって特色を持たせ、地域の活性化や子どもを含め多世代が集まれる公園など、過疎債や他の財源を確保して、避難所やその他、様々な機能を持たせたい。



▶ プラットフォームのイメージ。福祉の充実した飯綱町へ向けて

分散型エネルギーへの取組を

町長 民間の力を期待したい



石川 信雄議員

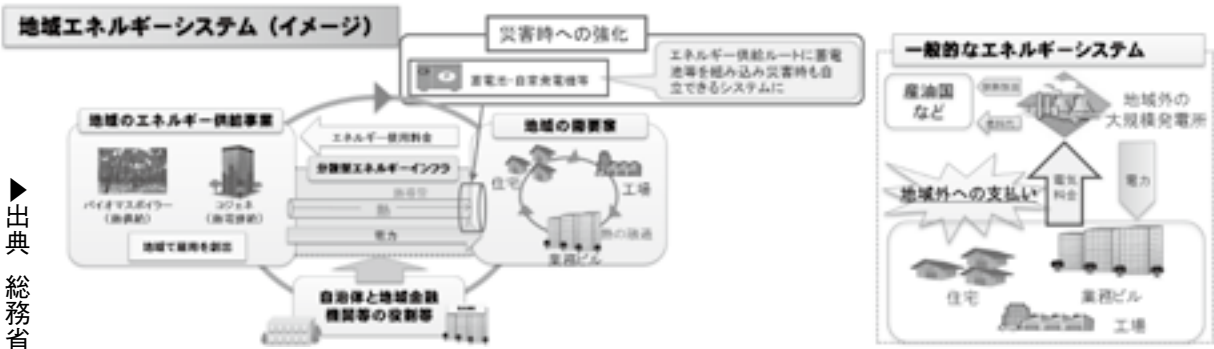
地域エネルギーを

石川 パリ協定以降、エネルギー問題は環境政策そして経済政策であり、東日本大震災以降はライフラインとして地域エネルギーガバナンスの観点からも重要視されてきている。エネルギーの地産地消という観点から、バイオマス、廃棄物等の地域資源を活用した地域エネルギー事業に取り組んでみては。現在、国で「エネルギー供給事業計画」の策定に關し、上限2000万円の補助をしている。また、人材面からの地域脱炭素支援も行っている。採択されることを見込んで手を挙げてはと思うが、見解を。

町長 長野県が2050年のゼロカーボンを目指す目標や、または、SDGsへの対応からも極めて重要である。但し実施にあたっては慎重に調査して運営、活用の研究をして参りたい。

石川 若者世代に關心の度合いが高い。1992年に環境サミットでスピーチをしたセバンスズキさん、2019年の国連スピーチで

一般質問



のグレタトゥンベリさん。原子力発電はクリーンエネルギーと言われてきたが、

▶ 出典 総務省

東日本大震災の事故があった時の代償は未だに解消されていない。災害対応の危機管理からもエネルギーのバックアップは大切だ。

先進事例を調べたが、県内では飯田市が「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」を制定している。民間では飯田信用金庫から融資を受け「おひさま進歩エネルギー株式会社」が設立された。

我が町も、条例の策定や自治体出資による公益的事業体の立ち上げをと思うが。

町長 どういった条例にしていくのかも大事であり、地域循環の視点から、エネルギーの地産地消についても何が得策なのか考える時がきている。

石川 滋賀県湖南市では、地域エネルギー課を設置。2012年9月「地域自然エネルギー条例」、2015年「地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン」を策定し、①エネルギー・経済の循環による地域活性化の推進②自立分散型のエネルギーの確保③地球温暖化

防止への貢献の3本柱として掲げている。住民に再エネの意識調査をしては。

町長 条例を作って進めていく時期がきたらやぶさかではない。

石川 岐阜県郡上市白鳥町石徹白(いとしろ)地区では、集落全世帯出資の農業協同組合連合を設立して小水力発電事業を行う。1口10万円の出資。商工会も参画して配当は地域商品券を配布。町が事業主体にならずとも、地域づくり会社に委託しては。

町長 民間に期待したい。運営はプロに任せて、町は施設整備なりで国の補助を受けるなどして参りたい。

石川 岡山県西粟倉村では、移住者によるローカルベンチャーを立ち上げ、バイオマス発電事業にも取り組んでいる。危機管理のうえから、非常時に備えての蓄電池・自家発電機設置に補助をしては。

町長 蓄電池は金額的にも高価。自治体単独では厳しいので、国の補助などが得られればそうしていきたい。



伊藤 まゆみ議員

学校給食費の無償化の実施を

保護者の強い声あれば検討したい

教育長

伊藤 コロナ禍の下で、収入減に物価高が追い打ちをかけ、子育て世帯の経済状況は大変厳しい。

6月の私の質問に、給食費は今年度中据置き、来年度については慎重に検討すると答えている。検討の結果は。

教育次長 食材の値上がり分が不明確な上、値上げに比べられる社会状況にあるかを考え、来年度も据置くこととした。

伊藤 長野県下では、21自治体が無償化を実施している。町においても無償化を念頭に今後も負担軽減に取り組む考えは。

教育長 教育委員会では、8町村と確認している。多くが人口5000人以下で、人口増につなげたいようだ。

伊藤 日本国憲法第26条で、「義務教育はこれを無償とする」とされている。

教育長 給食は、義務教育の中にはないと考える。

職員の働き方改革で、給食の時間は職員の休憩時間

一般質問

で、給食は職員の負うべき仕事ではないと位置づけられた。

保護者からの強い声があれば検討したい。



▲手作りでおいしい給食を目指して

町道管理の強化を

伊藤 除雪の時期を控え、

除雪後の安全対策が求められる。毎年、除雪後の高い山のため、「安全走行に支障をきたす」との声が町民から寄せられている。対応

策は。

建設水道課長 除雪は、業者委託26台、直営委託28台で行っている。最大限努力

しているが、除雪の向きにより山ができてしまう。排雪場所の確保に努めたい。

伊藤 濃霧と町道の安全対策として、以前の私の質問に外側線を引くなどの対策に取り組むとの答弁であった。どこまで進んだか。

建設水道課長 カーブミラー、ガードレールの修繕等確認した。道路の損傷箇所が多く、すぐ外側線を引いても駄目だと判断した。実

施計画を立て、令和5、6年で4工区程と考えている。

伊藤 道路補修は、春先にまとめて行われることが多いが、現



▲安全な道路管理が求められる

状でも補修されないままの箇所が見える。補修の基本的な考え方は。

建設水道課長 補修は春先が一番多く、業者へ依頼している。壊れやすいところや、町民からの情報で、担当係が水曜日の午後、穴埋め修繕をしている。今年は数が多かった。随時対応していきたい。情報を寄せてほしい。

路線ごとの修繕計画を立てて、痛みのひどい路線から改修していきたい。



上水内北部議会研修会 (信濃町議会と共催) 10月17日

【テーマ】

長野県の大太陽光発電の施策及び地域と調和した推進に向けた対応

【講師】

長野県環境部環境政策課
ゼロカーボン推進室
企画幹兼課長補佐
松本健氏

《長野県の地球温暖化対策の歩み》

- 2019.12 気候非常事態宣言
-2050ゼロカーボンへの決意-
 - 2020.10 長野県脱炭素社会づくり条例
 - 2021. 6 長野県ゼロカーボン戦略
 - 2022. 3 地球温暖化対策条例 改正・施行
- ↓ ↓ ↓
- 2050年 二酸化炭素排出量実質ゼロ
(2050ゼロカーボン)



長野県ゼロカーボン戦略のポイント

◆エネルギー消費を減らす

例) 建物の高断熱化

◆化石燃料からの転換

例) ガソリン車を電気自動車、燃料電池自動車へ

→2030年度までに4割減

⇒2050年度までに7割減 目標
(2010年度比)

◆火力以外のエネルギー

例) 太陽光、小水力、バイオマス

→2030年度までに2倍増

⇒2050年度までに3倍増 目標
(2010年度比)

◆CO₂の吸収 例) 森林整備

◆気候変動への「適応」

例) 防災減災、暑熱対策

再エネルギーの生産量増の取組の一つとして、県では「住宅太陽光」と「小水力発電」の徹底普及を進めている。
特に住宅屋根で太陽光発電のポテンシャル(可能性・潜在力)のあるものの中から、『信州屋根ソーラーポテンシャルマップ』を提供し、住宅屋根ソーラーの活用を推進している。

地域と調和した 再生可能エネルギー 事業の推進 に向けて

太陽光発電については、県内の再生可能エネルギーの推進を牽引している一方で、地域住民の景観や防災、環境影響への懸念、さらには地域との調整不足もあり、県内各地でトラブルが発生している。

【長野県の対応】

(1) 県条例の改正等

関係係局が連携して対応を強化し、

(これまでの取組)

- ・ 防災調整池の対象降雨確立の引上げ
 - ・ 太陽光発電の環境アセス対象事業化
 - ・ 林地開発許可の手続充実
 - ・ 景観面での太陽光発電の届出対象基準の強化
- (今後)
- ・ 庁内連絡会議で引き続き支障事例や課題の共有
 - ・ 各法令における太陽光発電への対応を検討

(2) 市町村へのサポート
地域の実情を踏まえた対応を支援し、

- ・ (これまでの取組) 「再エネ地域連絡会議」の立上げによる、地域での情報・課題の共有体制の強化
- ・ 「太陽光発電を適正に推進するための市町村対応マニュアル」の公表
- ・ 「市町村条例モデル」による法令レベルの対応の促進

↓事業化の際に配慮すべき区域などを示すことで、事業者にとつての実質的なガイドラインの役割を期待

↓事業者と地域住民の合意事項を担保するための「協定書のひな型」を提示

【質問】

野立てソーラーに対する騒音、電波障害、反射光等の影響を事業者側から提出された資料ではなく、住民側が事前調査する場合の支援はないか。

【回答】

事前調査に対する県の補助金等はない状況。

議会だより第68号(12月定例会)

Q

・町の予算・政策や県事業要望はあるが、その後の実施状況などを掲載してほしい。

A

・町への予算・政策の回答は、例年3月定例会の議会だよりに掲載しています。県事業要望は、来年度に回答が来るとお思いますので、来たら掲載します。

Q

・議員さん一人ひとりの顔、インタビューなど普段町民のためにしていることなど聞きたい。

・議員さん方の思いなどを、インタビュー形式で載せていただきたいです。

・議会の内容はしっかりと情報として載っているのですが議員の方々の個人での活動等を載せてほしい。

・どなたかも述べられておりましたが、議員の皆様のご趣味とか日々の活動の紹介を載せていただきたいです。議員の方々とはなかなかお話しする機会がないので紹介欄を設けることにより、親近感が湧き、町民の方々の身近な「議会だより」にも繋がるとお思います。

A

・いずれも議員や議員の活動内容を知りたいという大変前向きなご質問(ご要望)で、有り難いことだと思おいます。議会としての活動内容を記載したいと思おっています。今後、議員全員が集まる全員協議会で検討していきます。

Q

・地域目線から遠い場所に議会だよりがあるように思おいます。感心のある方のみ、熟読されると思おいますが、自分たちの身近、間近で起きていることに対して、話題が欲しいと思おいます。

A

・町の広報誌と重複を避ける必要もあるかと思おいます。ただし、身近・間近で起きている問題については、個々の議員が一般質問等で取り上げています。どうぞ、議員に御相談ください。

Q

・議会だよりの単価・配付数はどのくらいでしょうか。

A

・75円前後(構成ページ数による)で、4,100部程度です。



モニターアンケートにお答えします

Q

- ・最近議員定数改正を行った2議会を訪問されました。どこの町村も同じ悩みをかかえている中、飯綱町議会はどうすべきか、しっかりと決めていただきたいです。ちなみにふと見つけたのですが、奈良県五條市は2013年に定数を15名から12名に改正しています。何か工夫すれば市でも12名でやっていけるのでしょうか？それとも定数削減の何かしらの代償を払っているのでしょうか？
- ・議員定数改正を行った2議会を視察研修した参加議員の感想が載せられたが、今後前向きな検討を望みます。
- ・今回の議会だよりで、定数問題の研修のため2議会に視察に行かれたとのことで、議員の方々がどのように思っているのか、考えているのか、もう少し意見を聞いてみたいと思った。議員定数削減により町民の意見が通りにくくなることも考えられるが、無投票が続くようなら考えていくべき。

A

- ・議員定数削減の影響については、大きな支障があったということは聞こえてきませんでした。本当に何も問題がないのか、あるいは元々議会活動が低いのかは判りません。今後、協議してまいります。

Q

- ・飯綱町民に対する議員定数は適正な数になっているのでしょうか？
- ・議員定数の件：飯綱町の目指すものや住民の声を考慮し、検討していく必要を感じる。構成員の居住地区や年齢、性別のバランスが取れているのが理想的だと思います。
- ・議員定数問題についても、単純に定数削減とは言えないが、飯綱町としても検討しても良いのではないのでしょうか。

A

- ・一般的には、議員の仕事は、議案の議決、行政のチェックと政策提案（多様化する住民の意思を反映させる）です。このためには、様々な職種・経験が必要となります。さらに性別や年齢の多様性も必要です。これらの必要を満たすには、ある程度の人数は必要と思います。定数だけでなく、無投票だった件については、議会だけでなく、町民の皆さんの御意見等をお聞きしていくなかで、全員協議会等で検討していく予定です。

Q

- ・年間の質問回数は町民に開示すべきと考えています。議員定数改正問題を考える重要な指標にもなるのではないのでしょうか？

A

- ・重要な点は、回数だけではなく、中身についても指標としていただきたいので、回数だけの掲載は予定していません。



あの時の あの質問 どうなった??

～令和4年3月・6月定例会一般質問答弁の進捗状況より～

【令和4年3月】

Q 再生可能エネルギーの位置づけについての見解は。

A 太陽光については何とか助成を維持継続し充実していきたい。



対応 住宅用太陽光発電施設補助要綱は令和5年度で適用終了となるため、令和5年度に継続するか利用状況等を鑑み検討する。

Q 野立てソーラーパネルに対するガイドライン等の策定。

A 町条例ほか法律等総合的にみるなかで住民意見を反映した判断をしていく。



今後の見通し 地球温暖化対策促進法による区域制度設定で再エネ推進及び設置に係る地域設定を図っていく。令和4年に町民意識調査を実施している。

Q PTA、地区等からの通学路の安全対策のための改善要望事項の一元管理および対応結果の公表は。

A 保護者、PTAの皆様には、PTAを通じてお知らせいただいている。安全プログラムにもあるとおり、今後は広く公表を行い、地域の皆さまと情報を共有して、子どもたちの安全対策を考えていく。



対応 ホームページに掲載していく。

今後の見通し 令和4年度の懇談の結果を受け、公表を行っていく。

【令和4年6月】

Q 自治組織に参加を。

A 移住された方などに向けて、自治会等の加入を呼び掛けるパンフレットのようなものを作成することも必要ではないかと考える。



対応 チラシを作成、区長組長会議でも説明の上、住民係窓口において移住された方などに配付している。

Q 住民との協働によるまちづくりの推進へ取組は。

A ファシリテーターの導入とままでいかないが、ファシリテーションの技術を学ぶような取組を研究したい。



対応 集落活性化を主業務とする地域おこし協力隊の面接を実施し任用を決定。令和5年1月から任用予定。

今後の見通し 集落活性化を主業務とする地域おこし協力隊には、地域に入り込んで住民の意見を引き出すファシリテーションの技術が必要。この協力隊員にファシリテーションの研修等を受けられるように対応していく。

あの質問どうなった

・太陽光発電については11ページに詳しく掲載しています。

新しい町づくりへ 私の提案

第29回

文化財を大切にしたい



小山 良実さん
(倉井)

倉井神社の氏子総代を2年間務めました。神社では元日祭をはじめとして年間14回ほどの祭事を執り行います。祭事には先人の強い想いが込められていると感じました。

倉井公民館の横に、三水蚕神社の祠が鎮座しています。5月初旬に宮司さんに祝詞奏上していただき、区六役が参拝しています。今では養蚕業は見かけることはありませんが、蚕社がリಂಗ産業等の「農業神」に変身しているとの説もあるそうです。

町内には先人が様々な想いを込めて建立した祠などが、人知れず草むらに鎮座していることが多いと思われれます。先人の思いと歴史を大切にする町であって欲しいです。

子どもと一緒に育つ町



濱野 牧子さん
(普光寺)

飯綱町に引っ越してきて6年が経ちました。自然豊かで、近所の方々も親切で優しく、とても恵まれた環境の中で子育てができています。

先日、町のクリスマスマーケットに小学生の娘と一緒に出店させていただきました。娘にとつて初めての出店でした。自分で売るものを考えたり売ったりすることは、とても良い経験となりました。今後もうこういったマーケットであったり、子どもたちが活躍できる場があると、学校以外の学びも増える自分の好きなことや得意なことを見つめる機会にもなると思います。

子どもたちが元気いっぱい自分らしく成長できる町であってほしいと願っています。

町民の交流促進を図ろう



原田 誠一郎さん
(平出)

少子高齢化の影響が、コミュニティの活力が落ちてきている気がします。子育て世代支援施設等の整備に加えて地域間、世代間の交流促進も必要だと思います。

そこでICTを活用しスマホ等により気軽に町民同士が直接アクセスできるネットワークサービスを整備することにより、交流促進を図れないかと思っています。

メニューとしては例えばリユース品の交換、各地域におけるコミュニティ活動の紹介やイベントの告知、生活の知恵等の情報交換などが、交流の糸口となるのではないのでしょうか。また高齢者宅の除雪ボランティアさん募集等にも活用できるかもしれません。

助け合い活動やエコ活動を通して、地域の活性化が図れたらと思います。

「飯綱町議会だより」 表紙写真募集

● 募集内容

- 飯綱町内で撮影した四季折々の行事や風景など「飯綱町議会だより」の表紙にふさわしい、皆様の力作を募集します。
- ① 応募者本人が飯綱町内において、概ね1年以内に撮影したもの（2枚1組・表表紙・裏表紙説明）。
 - ② 未発表のもの。
 - ③ A4判全面で掲載するため、高画質のデジタルデータで提供できるもの。
 - ④ 人物が特定できる場合は、被写体の承諾を受けたもの。
 - ⑤ A4判全面掲載により、タテ向きに撮影してください。
- 上部に「飯綱町議会だより」のタイトルが入るので、上部にスペースを設けることを、特に注意して撮影してください。

● 応募期間

年間を通して随時応募を受け付けますが、各号ごとの審査対象は次の期日までに応募のあった写真とします。

- 4月下旬発行号 3月31日までの受付
- 7月下旬発行号 6月30日までの受付
- 10月下旬発行号 9月30日までの受付
- 1月下旬発行号 12月27日までの受付

応募方法、審査、掲載及び応募上の注意事項は、議会事務局にお問い合わせください。

電話（直通）026-253-4761



69号表紙説明

今年は、天候に恵まれ雄大な景色の中で、開催されました。211名の方が、1年の始まりとして参加しました。この大会は、町内の多くの団体の協力で行われます。末永く続くようお祈り申し上げます。



▲当日の打合せの様子

議会だよりモニター

生の声

30

「飯綱町」の過去・現在・未来を丸ごと発信できたら素敵 J・Kさん(福井)

飯綱町には移住というよりも「転居」で、約10年ほど前に家を求めました。進学から就職と大半を東京で過ごし、生まれはりんごが育つ場所ではなかったこと。今まで長野市内へ通勤し、町内を見わたす時間を見失っていました。そんな中で、一番身近で、かつ特産品である「りんご」には、ほぼ触れることなく過ごしてしまいました。が、「日本一のりんごのまち」の飯綱町

を今、そしてこれからもとても誇りに思います。

以前、長野県内の各市町村で1冊丸ごとその市町村の誇りがギュッと詰まっている雑誌を何冊(何市町村)も見かけました。1年を通して取材されていることも誌面から伝わってきました。市や町、村の、過去(歴史)・現在・未来の切り口で、農商工から子育て、人、町の目指す未来のかたちなどが堅苦しくなく温かく作られていました。1冊丸ごととは例え話ですが、飯綱町は果たして1年を通して深掘りできる魅力発信できているのか。できるよう自身もまちに携わっていききたいなと思います。

※本人の希望により匿名

■ 3月定例会予定

3月1日～22日(22日間)

一般質問

3月6日(月)・3月7日(火)

常任委員会

3月8日(水)・3月9日(木)

編集後記

本年が、皆さんにとって輝かしい希望に満ちた一年になりますように、心からお祈り申し上げます。新型コロナウイルス感染症や他国からの侵略を心配しなくてもいい世の中になるとういことです。

(弘)

編集委員

雄一	千賀	邊	渡
雄一	信	川	石
廣枝	寿	中	石
弘	文	井	川
和	良	林	中
		野	小
		山	瀧
		島	野
			青
			山
			中
			島
委員	委員	委員	委員
委員	委員	委員	委員
委員	委員	委員	委員
委員	委員	委員	委員
委員	委員	委員	委員